

平成19年度 事務事業評価表	担当	企画部	人事課	内線等	1552
事務事業名	安全衛生委員会事務事業			事業コード	5. 義務的事業
根拠法令等	労働安全衛生法 職員安全衛生管理規程			A 法令	D その他

総合計画での位置付け

基本目標	7. その他	施策名	その他
------	--------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	職員に対し
手 段	安全衛生管理体制の整備を図ることにより
想定する成果	快適な職場環境の形成を促進し、職員の安全の確保、及び健康の保持増進に寄与する。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
安全衛生委員会開催日数	12回 / 年	12回 / 年	12回 / 年
衛生管理者による職場巡視事業	12回 / 年	12回 / 年	12回 / 年
健康管理研修受講者数	45人	35人	50人
事業に係る人員	0.3人	0.3人	0.3人

成果指標

成果指標名	事業に係る職員人件費
成果指標の説明	職員一人当たりの人件費 × 事業に係る人員

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		2,335千円				2,343千円				2,354千円			
成果指標													
事業費	事業費	98				163				174			
	人件費	2,335				2,343				2,354			
	(人数)	正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤		正規	0.3	非常勤	
	合計	2,433				2,506				2,528			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	2,433				2,506				2,528			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	健康管理研修での参加者の拡充を図る。
経済効率性	3	3	3	2	
事務効率性	3	3	3	3	H15年度からEメールを活用した委員会開催(隔月)により事務効率の向上を図っている。
必要性	-	3	-	3	義務的事業
小計	8	11	8	10	
施策への貢献度	-	-	-	-	施策名が「その他」
合計	8	11	8	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	職場環境及び安全確保については職場巡視により改善が見込まれるが、参加者が減少する健康保持の啓蒙を目的とした健康管理研修について検討を図る必要がある。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
健康管理研修のマンネリ化防止策の検討
上記改善点の実施状況
研修を外部講師や内部講師(保健師)で実施したり、研修内容を時流に沿ったものを選定(メンタルヘルス対策～脱メタボリック～食育～歯周病)し実施した。

今後さらに改善すべき点

健康管理研修の参加者が年々減少しているため、研修内容を検討しより多くの職員の参加が見込めるものとする。

平成21年度予算に反映する項目

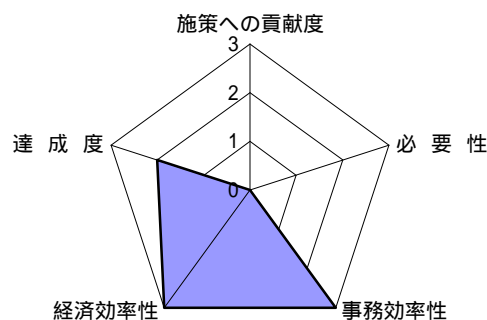
--

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点